

せんとうき 尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に
使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館
史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館
神奈川県相模原市中央区
田名塩田 3-23-11
042 777 6371
平成 29 年 3 月 1 日
【第 34 号】

かお・カオ・kao



企画展 (ミニ展示)

好評・開催

3/20まで



平成 28 年度、旧石器ハテナ館は縄文時代の「顔」をテーマにいくつかのイベントを行って来ました。平成 29 年 1 月 21 日(土)から始まったミニ展示も、「かお・カオ・kao 顔がいっぱい! ~縄文の人たちは、顔にどんな思いを込めたのか~」と題し、ハテナ館近隣の遺跡から出土した「土偶の顔」や「土器についた顔の形をした取っ手」を紹介しながら縄文時代に親しんでいただくことが目的になっています。「縄文時代クイズ」や「土偶顔ハメ」、「土偶ぬりえ」など小さなお子さんたちにも楽しく縄文時代を学んでいただける工夫がたくさんあります。

展示品をいくつかご紹介しますと、当麻遺跡で見つかった小さな土偶は表と裏に顔があり、お母さんと子どもを表現したのではないかと考えられています。大地開戸遺跡で発掘の「ふくろう」の形をした取っ手や川尻中村遺跡で出土した鉢巻をしているように見える土偶(通称ハッチ)などユニークな物もあります。身体の間が欠けているのは、身代わりとして壊すことで災いを防いだからという説があります。表情ゆたかな「顔」の展示は3月20日(月・祝)までです。ぜひ、皆さんでお出かけください。



立ちのぼる ジョウモンの香り!

連続講座・開催 縄文スローライフ

「今から五千年前の縄文人たちは、いったい どんな生活を送っていたのでしょうか。いま 私たちが忘れかけている自然とのかかわりこそが、縄文人の生活の基本となっていたことでしょう。縄文人がいかに自然をうまく活用してきたか縄文食の体験も含めて考えていきたいと思います。」(案内のチラシより)

本年度の連続講座は小薬一夫さん(県立東高根森林公園副所長)を講師に迎えて実施しました。(東高根森林公園は、川崎市のだ真ん中にある県立の自然公園です)

参加者はのべ 24 名。1 回目は 1 月 28 日「縄文時代の生活について」の講義、2 回目は 2 月 4 日「縄文時代の食事を体験しよう!」でした。講義は、縄文時代の四季の生活の様々な場面に踏み込んで、しかも明快で大変好評を博しました。2 回目の体験は、縄文鍋と縄文クッキー(マテバシイ、クリ、クルミを 砕き、石皿で すりつぶし オープンで 焼く 写真右)を作り、立ちのぼる「縄文の香り」と舌触り・味に皆さんの顔は、終始ほころんでいました。



参加者の感想

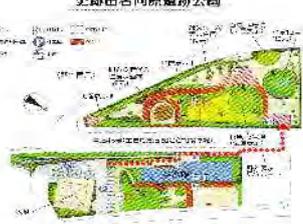
(意外にグルメだったのか なァ ... 縄文の人たち) 縄文鍋を食べ 第一にこう 感じました。会場は なごやか。和気藹々 そのものでこんなに楽しい講座は(私 たくさんの講座に参加してきましたが)初めてでした。



旧石器ハテナ館の **みる・きく・つくる**

平成29年度 各種普及事業のご案内

平成29年度も事業をいっそう充実させます。下記が年間行事予定表ですが、やむなく変更、中止になる場合は市広報やHPでお知らせします。各事業の詳細につきましては、旧石器ハテナ館までお問い合わせください。

定例体験教室 第3日曜日(除く9月)		イベント		講演会
事前の申し込みが必要です。直接か電話で同館へ。 ☎ 042 777 6371				事前の申し込みは不要です。直接、ハテナ館にお越しください。
4月	16(日) 勾玉作り 		22(土) 文化財探訪 	
5月	21(日) 河原石で石器作り 			13(土) 領塚正浩さん(市川市立考古博物館) 「縄文時代のリサイクル」
6月	18(日) 黒曜石で石器作り 			
7月	16(日) 土器作り 		29(土) 親子で学ぶ考古学	
8月	20(日) 勾玉作り 		5(土) 八瀬川探検 勝呂尚之さん(県立内水面試験場) 	26(土) 井上洋一さん(東京国立博物館) 「『イノシシ』から『シカ』へ」
9月	16(土)  ハテナ館まつり 			
10月	15(日) 弓矢作り 		日程等未定 河尻清和さん(相模原市立博物館) 21(土) 文化財探訪	
11月	19(日) 埴輪作り 		11(土) バスツアー 群馬県立博物館&古墳	
12月	17(日) 黒曜石で石器作り 			2(土) 北條芳隆さん(東海大学教授) 「相模川流域地帯の古墳時代」
1月	21(日) 土器作り		1/20(土)~3/21(水・祝) ミニ展示 「『当麻』の遺跡 発掘成果速報展」	
2月	18(日) 編布作り 		3日、10日(土) 連続講座 小泉玲子さん(昭和女子大学教授) 「古墳時代の装飾品作り」	
3月	18(日) 弓矢作り 		日程等未定 たかはしりゅうざぶろう 高橋龍三郎さん(早稲田大学教授)	